

# 阪神・淡路大震災の概要

防災福祉コミュニティ活動において阪神・淡路大震災の教訓を伝えることは、最も重要なことです。ここでは、その概要について記載しています。

## 兵庫県南部地震の概要

平成7年兵庫県南部地震の統一的な災害名として「阪神・淡路大震災」と呼称されています。

- ①発生日時 平成7年1月17日 午前5時46分
- ②震源 淡路島（北緯34°36' 東経135°02'）
- ③震源深さ 約16km
- ④規模 マグニチュード7.3（※）
- ⑤震度 震度6（一部地域で震度7）

※平成13年4月23日気象庁の見直しに伴い、マグニチュード7.2から修正



焼失した建物<灘>



座屈したビル<中央>



焼けた車両等<長田>

## 被害

震災は、多くの命を奪うとともに、都市基盤や建築物に甚大な被害を与え、市民に直接的な大被害を与えました。また、復旧の長期化に伴い、産業、都市機能、生活などに様々な影響を及ぼしました。

### (1) 被害概要（神戸市外含む）

- ①死亡者 6,434人
- ②負傷者 43,792人
- ③全壊及び半壊棟数 249,180棟

### (2) 市民生活への被害（神戸市のみ）

#### ①人的被害（神戸市）

- ・死亡者 4,571人（H17.12.22変更）不明者 2人
- ・負傷者 14,678人（H12.1.11）
- ・高齢者（60歳以上）死亡者 約59%※
- ・家屋倒壊による死者 多数

※高齢者死亡者の割合は、平成17年12月22日現在（死者4,571人）での割合

## ②避難

- ピーク時：避難所箇所数 599箇所 (H7.1.26)  
避難人数 236,899人 (H7.1.24)  
避難所就寝者数 222,127人 (H7.1.18)

## ③公共施設の被害

- 市役所、病院等の重要公共施設の破損、倒壊

## ④学校教育・社会教育・文化施設の被害

- 学校園の約85%が被災
- 博物館、中央図書館旧館、ポートアイランドスポーツセンター等の破損、倒壊
- 酒蔵、異人館等の破損、倒壊



焼けたビル<須磨>



破損した高架橋<東灘>



救援物資の車列<中央>



動物園が自衛隊基地に



建設が進む仮設住宅



炊き出し風景

※写真等資料：神戸市ホームページより

### 《阪神・淡路大震災「1.17の記録」》

震災についての記録写真をオープンデータとして提供しています。

<http://kobe117shinsai.jp/>

# 南海トラフ巨大地震と地震への備え ～災害を知り、備えよう～

今後30年以内に70%～80%の確立で発生すると懸念されている「南海トラフ巨大地震」。南海トラフ巨大地震の概要や地震発生時の対応についてご紹介します。

## 南海トラフ巨大地震とは

約100年～150年の周期で発生している南海トラフ巨大地震。  
近い将来、発生する可能性が高く、非常に大きな被害が想定されています。



## 巨大地震が発生したら、どうなる？



建物が倒壊



頭上から落下物



家具の転倒



火災の発生



津波が発生することも

## 巨大地震直後は、津波の情報も確認！

津波が発生するかどうかで避難行動が変わります。  
まずは、津波に関する正確な情報を集める事が重要です。

### 速報は地震発生から約3分後

「兵庫県瀬戸内海沿岸」に大津波・津波警報が発表された場合は、避難してください。

### その後も最新情報を確認

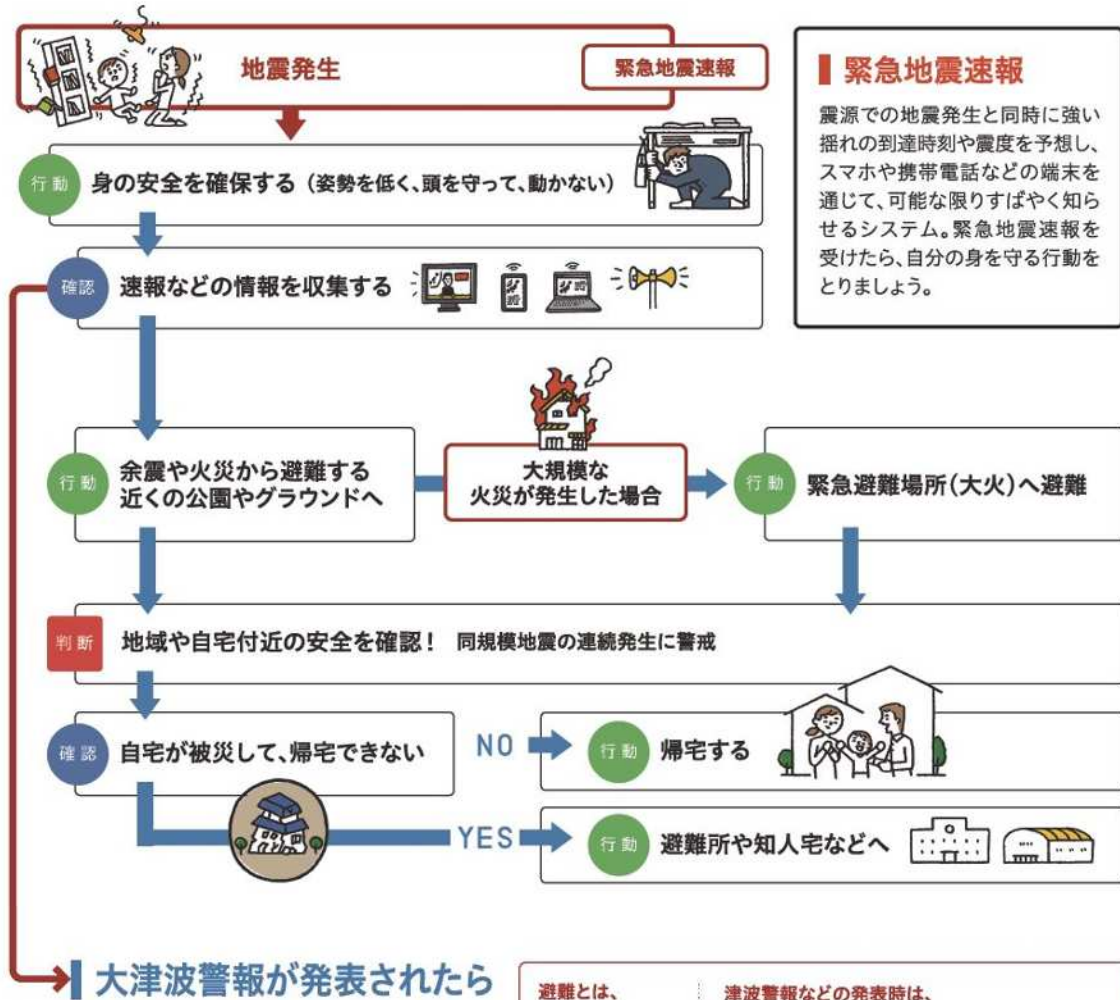
速報後、より正確な「予想される津波の高さ」「津波の到着時間」が発表されます。最新情報を確認し、落ち着いて行動しましょう。

### 津波は何度も襲ってくる！

初めの到達から少なくとも5～6時間、津波は何度も押し寄せます。

警報・注意報が解除されるまで警戒・避難を続けましょう。

# 地震時の避難行動



**緊急地震速報**  
震源での地震発生と同時に強い揺れの到達時刻や震度を予想し、スマホや携帯電話などの端末を通じて、可能な限りすばやく知らせるシステム。緊急地震速報を受けたら、自分の身を守る行動をとりましょう。

**海岸から離れて  
高台等の  
安全な場所へ避難**

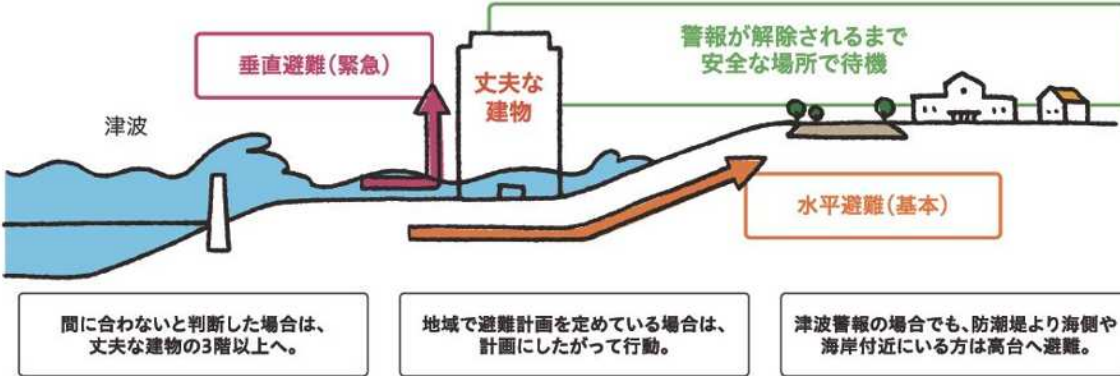
ハザードマップに避難行動の目安を掲載しています

**避難とは、**  
「難」を「避」けることです。例えば津波の来る恐れのない高台や丈夫な建物の3階以上などにいるときは、その場で安全確保することも含めて状況判断。

**津波警報などの発表時は、**  
予想される津波の高さも表示されます。

	予想される津波の高さの表記方法	
	数値での発表	巨大地震の場合の表現
大津波警報(特別警報)	10m超 10m 5m	巨大
津波警報	3m	高い
津波注意報	1m	(表記なし)

※マグニチュード8以上の巨大地震の場合、「巨大」「高い」という言葉で発表、非常事態であることを伝えます。



間に合わない判断した場合は、丈夫な建物の3階以上へ。

地域で避難計画を定めている場合は、計画にしたがって行動。

津波警報の場合でも、防潮堤より海側や海岸付近にいる方は高台へ避難。

第1章  
市民防災リーダー

第2章  
防災福祉コミュニティ

第3章  
災害を知る

第4章  
防災資機材・訓練メニュー

第5章  
その他

# 土砂災害・風水害 ～災害を知り、備えよう～

出水期(6月～10月)を中心に毎年、土砂災害や風水害の被害が発生しています。身の回りに潜む土砂災害や風水害の危険性について学びましょう。

## 土砂災害とは？

大雨や地震などが引き金になって、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）や土石流、地すべりにより起こる災害です。

### がけ崩れ

斜面が急に崩れ落ちる現象

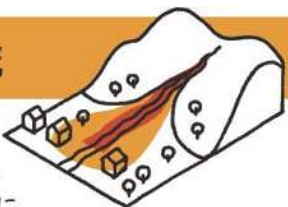


#### 予兆

わき水の量が増える。  
がけから出る水が濁る。  
がけに亀裂が入ったり、がけから小石が落ちてくる。

### 土石流

山や谷の土砂が水と混じり一気に流れ出す現象



#### 予兆

川が濁ったり、流木がまざりはじめる。  
雨が降り続けているのに川の水位が下がり始める。  
地鳴りの音が聞こえてくる。



がけ崩れ

### 地すべり

緩い斜面が広い範囲でゆっくりすべり落ちる現象



#### 予兆

斜面や地面にひび割れができる。  
斜面から水がふき出る。



土石流

写真提供  
NPO法人土砂災害防止広報センター

## ●宅地の災害

大雨等による地盤の緩みや排水不良により、宅地の斜面や擁壁、石積みが崩れる災害です。



- ・宅地の所有者や管理者は災害が生じないように、常に安全な状態に維持・保全しましょう。

## 身の回りの危険性を把握しましょう。

土砂災害の恐れのある区域を「土砂災害警戒区域」（イエローゾーン）として指定しています。イエローゾーンの中でも、災害が発生した時に建物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れのある区域を「土砂災害特別警戒区域」（レッドゾーン）として公表しています。

自宅や地域内がイエローゾーンやレッドゾーンに該当している場合は、あらかじめ大雨時の避難方法や活動方針を考えておきましょう。

# 風水害

## ●洪水

河川の水があふれたり、堤防が決壊することにより、はん濫が発生する災害です。

- 洪水により浸水する恐れのある区域を「河川の洪水による浸水想定区域」として公表しています。
- 自宅が洪水浸水想定区域にある場合、あらかじめ大雨の時の避難方法を考えておきましょう。



## ●内水はん濫

大雨により、雨水管や側溝の排水能力を超える大量の水が流れ込んだり、水位の上った河川や海から水が逆流することで、雨水があふれる現象です。

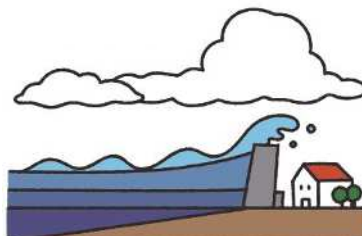
- 内水はん濫により浸水する恐れのある区域を「内水はん濫による浸水想定区域」として公表しています。
- 大雨の時は、浸水想定区域や過去にあふれた箇所、地盤が低い箇所に注意しましょう。



## ●高潮

台風や発達した低気圧の接近時、海面の水位（潮位）が異常に高くなる現象です。

- 台風等の接近時は、高潮による浸水の警戒が必要です。防潮堤の海側や海岸付近には、近づかないようにしましょう。



## 急な増水に注意！

- 水位は短時間で上昇することがあります。大雨や洪水の注意報・警報発表時はもちろん、雨が降り始めた時、雷が鳴っている時、上流に雨雲や入道雲が見えるときには、河川や河川内の遊歩道からすぐに上がりましょう。

第1章  
市民防災リーダー

第2章  
防災福祉コミュニティ

第3章  
災害を知る

第4章  
防災資機材・訓練メニュー

第5章  
その他